



[ホーム](#)> [製品・事業](#)> [製品・事業](#) [お知らせ・ニュース](#)> 「スーパーグロスカーボンナノチューブ量産技術完成」が、第45回日本産業技術大賞「審査委員会特別賞」受賞

## 「スーパーグロスカーボンナノチューブ量産技術完成」が、第45回日本産業技術大賞「審査委員会特別賞」受賞

2016年4月7日

日本ゼオン株式会社（社長：田中公章）はこのたび、第45回日本産業技術大賞において、「スーパーグロスカーボンナノチューブ量産技術完成」で、国立研究開発法人・産業技術総合研究所（以下、産総研）と共に、審査委員会特別賞を受賞いたしました。

単層カーボンナノチューブ（CNT）は、1991年に発見されて以来、次世代の基幹材料として期待されていたものの、多層CNTとは違って生産性が極めて低く製造コストが高いことから、量産技術の開発が待たれていました。

当社は、産総研と共に、産総研・畠賢治博士らが2004年に見出したスーパーグロス法を、より小型化・合理化し、低コストで安定的に量産できるプロセスを確立し、世界初の量産工場を、山口県周南市のゼオン徳山工場内に2015年11月に竣工しました。

この度の受賞は、当社と産総研が二人三脚で要素技術を確立し、生産性を高めたことを評価し、また「将来の需要の創出や伸び代に期待し、奨励するもの（原山優子審査委員長）」との事です。

\* 日本産業技術大賞は、1972年に創設された表彰制度です。その年に実用化された革新的な大型産業設備・構造物や、先端技術の開発、実用化で顕著な成果をあげた企業・グループを表彰し、産業界や社会の発展に貢献した成果をたたえるとともに、技術開発を奨励することを目的としています。

<http://biz.nikkan.co.jp/cop/prize/priz07000.html>



産総研・ナノチューブ実用化研究センター長 畠賢治様（一番左）、当社専務取締役 大島正義（一番右）

【関連情報】

\* [スーパーグロスCNTが実現する応用製品：TASC（単層CNT融合新材料研究開発機構）HPへ](#)

\* [プレスリリース：世界初 スーパーグロスカーボンナノチューブの量産工場が稼働（2015/11/4）](#)

\* [プレスリリース：日本ゼオン、カーボンナノチューブ製造プラントの竣工式を開催（2015/11/11）](#)

✉ お問い合わせ